

## 第1号議案

### 2015年度活動報告

#### 1. ネパールの状況

・プロジェクトの実施サイトのシンズーパルチョウク郡・チョウタラ国立病院に通じる国道が、2015.4.25のネパール大震災の震源地により寸断され、その上に雨季に入って崖崩れが重なり、手作業の復旧工事のため、チョウタラ病院に行けない日が続いた。当初予定より遅れてプロジェクトに着手

・道路が何とか自動車を通れるようになったかと思ったら、自動車の燃料；ガソリンが欠乏してスタンドが閉店休業。車が動かなくなった。

・経済圏を同じくするインドからガソリンが入ってこない。ネパール在住のインド人が、新しく制定されたネパール共和国憲法に不満を爆発させ、インドとネパールの国境にパレードを張って、生活物資の入国を止めている。あくまでも民間レベルの仕業なので、解決に見通しが立てにくい状況にある。

#### 2. ネパール大震災募金活動

- ・2015年4月25日 発生 以下余震続く
- ・募金額 約50万（法人中心に個人含む）

#### 3. ネパール大震災救援活動

- ① フジッコ（株） 煎り黒豆 1000袋
- ② 現地協力 NAFS
- ③ キーマン；ラジャン M マツラ理事 & JAFS 熱田典子
- ④ 持ち込み地区 ネパール・シンドウパルチョーク郡ボテシバ村  
イ) サラソワテイ小・中学校  
ロ) チャンディスウォリ小・中・高等学校
- ⑤ 配布日 2015. 6. 20日～
- ⑥ 反応

- ・人数の関係で2人で1袋の割で配布
- ・大きな豆に驚き
- ・甘味があると喜ぶ

#### 4. 栄養・衛生教育プロジェクト

- ・対象；シンズーパルチョーク郡被災小学校 生徒1000名
- ・主催 PHIDReC
- ・監督・認可 シンドウパルチョーク郡教育庁
- ・期間 2016年1月～6月
- ・教育ツール 歯磨き粉、歯ブラシ、石鹼、専従者教育
- ・背景

学校被害で最も深刻だったのは、トイレの破損であった。トイレの再建と衛生・栄養教育をセットにした計画をアメリカのある基金と協同（相乗り）で実施する予定であったが、費用規模が大きくて、資金的に主導権を握れないので、トイレ再建を外した計画に変更した。

幸い、衛生、栄養教育プロジェクトに郡教育庁も力が入り、費用の調整もあって、具体的活動は2016年1月からスタートした。フィニッシュは7月の予定。

#### 5. ポカラ短大OB研修会

毎年収穫祭のある10月に実施してきたが、震災被害、インフラ混乱を勘案して中止した。予算は栄養・衛生教育プロジェクトに転用した。

#### 6. 妊婦ヨード補給プロジェクト

インフラの混乱の中、当初計画より遅れて実施した。

- ・国立チョウタラ病院（シンズーパルチョーク郡）
- ・妊婦97名
- ・2015年9月～2016年1月
- ・結果 ヨード欠乏 25.2% ヨード過剰 42.9%  
ヨード添加塩の摂取過多が問題。栄養教育の必要。  
詳細 別途レポート参照

#### 7. 広報活動

ライオンズ倶楽部 加茂京都支部例会

- ・日時 2015.10月5日（月）18時30分～
- ・場所 京都プリンスホテル（蛍が池）
- ・講師 熱田理事長
- ・内容「私のボランティア論～ネパール～」

#### 8. 会議

(ア) 2014年度総会

- ・2015年5月31日 15時～16時半
- ・フジッコ（株）本社2F ミーティング室

(イ) 理事会

- ・2016.3. 26日 13時30～
- ・本部にて